

学校研究について

学校研究全体計画

(1) 研究主題

「わかる・できる・かかわる」体育科授業の創造

(2) 主題設定の理由

体育科の授業研究を通して得たことを学級経営や他教科に生かしていくことを目指す研究がスタートし、3年目を迎える。1年目は体育科の究極的な目標である「楽しく明るい生活を営む態度を育てる」ために、「認め合い、高め合う授業をめざして～体育科の授業を通して～」を研究主題として掲げ、授業実践を重ねてきた。体育科授業の中で「規則を守る、励まし合ったり協力したりする、公正に判断する」という態度の育成から学級経営の充実に繋げていった。また、運動の特性を分析し、児童の実態をつかみ、「わかる」「できる」「かかわる」の3つの視点から「目指す児童の具体的な姿と支援」を考えた授業作りをする中で児童を育ててきた。

2年目の昨年度は『「わかる・できる・かかわる」体育科授業の創造』を主題とし、これまでの体育科授業をより深く追求するため、3つのアプローチ（体育科の学習内容の捉え直し・教材の選択・かかわりの場面の工夫）を研究の中心として進めてきた。

「体育科の学習内容の捉え直し」は、児童にとって何が楽しい運動なのかを、「わかる楽しさ・できる楽しさ・かかわる楽しさ」の3つの視点で児童の側から捉え直していくことで、指導内容が「やりたくなる楽しさのある内容」へと変化し、児童の主体的活動を引き出すことが実践から明確になってきた。また、「教材の選択」では、学習内容に運動の特性と児童の実態を加味し、主な運動課題を設定したり、その課題が児童にとって解決可能となるように教材を工夫したりすることで、指導内容、指導の順序、手立てなどが明確となり、児童を「運動がわかる・できる」へ導いたり、誘い込んだりすることができてきた。さらに、肯定的な声かけが行える児童が増えるにつれ、児童相互のかかわり合いに温かさも感じられるようになったことが体育ノートなどの記述から明確になった。ルールやマナーを守ることがより楽しい授業を作り出せるということに気付き、かかわり合い、教え合う姿が授業の中で見られ、「努力による小さな進歩」や「相手ののびを認め喜ぶ体験」を「かかわる楽しさ」として味わうことができてきた。

今年度は、これまでの実践の積み上げを深め、楽しい体育科授業を創造していきたい。体育科授業の充実を図ることが、これまで目指してきた学級経営の充実に繋がり、さらに他教科にも繋がるのが期待できる。そして、これらの過程の中で、児童の学習に対する構えや態度、望ましい人間関係が本物の力として身に付くのではないかと考え、本主題を設定した。

また『いしかわ学びの指針12カ条』における「5. 相手を意識して話す力・聞く力を身につけさせる」、「6. 学び合いの学習を充実させる」を意識し、より確かな学習基盤を構築していきたい。

(3) 研究の全体構想図

学校教育目標
心身ともにたくましく、知力溢れ、感性豊かなくしっ子の育成

めざす児童像

- ・ 自ら学ぶ子
- ・ 心豊かな子
- ・ 挑戦する子
- ・ 共に生きる子

研究主題

「わかる・できる・かかわる」体育科授業の創造

学級経営の充実

全教育活動
の充実

体育科授業
の充実

できる

- ・ 単元構成の工夫
- ・ 学年の系統性を持たせた指導内容
- ・ 児童の実態を踏まえた課題設定の工夫
- ・ きめ細やかな指導と評価のある授業

楽しい体育科授業

わかる

- ・ オリエンテーションの充実
- ・ 提示、動画などの視覚的資料
- ・ いしかわ学びの12カ条

かかわる

- ・ 集団づくり、個人運動の集団化
- ・ かかわる場面の創出
- ・ かかわりを深める指導
- ・ Q-U等による児童や集団の理解
- ・ ルール、マナーの定着

- 5. 相手を意識して話す力・聞く力を異に付ける
- 6. 学び合いの学習を充実させる。

23年度：認め合い、高めあう授業をめざして～体育科の授業を通して～

・ 学習意欲・根気強さ・規範意識・互いを思いやる人間関係力の育成